

2018年度 町田市訪問看護ステーション連絡会事業計画

1. 基本方針

国として地域包括支援システムの構築が推進されるなか高齢者の増加、価値観の多様化に伴い、心身の病気を抱えながらも可能な限り住み慣れた場所で自分らしく最期まで過ごすことが望まれています。在院日数の短縮に伴い医療依存度の高い在宅療養者が増加する中、療養者を支える在宅医療の要となる訪問看護の役割は非常に重要です。しかし、町田市内の現状は、看護師の不足やサービスの理解不足のために必要なサービスが十分に提供されていないことが課題となっています。

連絡会は市民の健康、療養生活を支えるために各事業所が協力し、広報や訪問看護の質向上を目指した活動を行うことを目的とし結成しました。事業所間だけではなく病院と地域をつなぐ看看連携の強化や他職種との連携を図ることで、円滑に在宅移行が出来、生活を支える事が出来ます。

より質の高い訪問看護が提供できるよう各ステーションが一体となって連絡会事業の推進に努めます。

2. 重点目標と具体策

(1) 事業者及び担当者の顔の見える関係を築く

- ・当該エリアに属する町田市の訪問看護ステーションの管理者、担当者が集い定例会等を開催し、地域課題や訪問看護に特化した課題を浮き彫りにし、市内のステーションが一体となり、推進すべき役割を醸成する。

(2) 訪問看護におけるケアの質の向上及び法令遵守など適正な運営に必要な基本的情報の共有化を図る

- ・町田市における行政課題について理解し、今後の動向等、情報を共有する。
- ・訪問看護事業の健全かつ効率的な運営に向けて、医療や介護等に関わる制度に基づき、よりよい運営方法について検討、模索していく。
- ・研修会や事例検討会等の企画や実施をする。
- ・認定看護師の役割である「指導」「相談」に基づき、看護職への指導やコンサルテーションの場を会全体でサポートすることで、訪問看護の現場における看護ケアの広がりや質の向上をはかる。

(3) 地域の課題を共有化し、共同して課題に取り組む

- ・「医療・介護・予防・生活支援・住まい」といった地域包括ケアシステムの一端を担う訪問看護の役割を地域課題から見出し、訪問看護の観点から課題解決に向けて検討する。
- ・認定看護師の役割である「実践」に基づき、あらゆる手法をもちいながら、町田市民のよりよい在宅療養生活に寄与できるよう情報の発信に努める。
- ・人材開発センターの仕事フェア、就職面接会等に参画し人材確保に努める。

3. 事業内容

(1) 役員会

年3回以上開催し、連絡会の活動・運営について協議する。

(2) 定例会

活動計画に沿って、年3回以上開催する。

(3) 総会

年1回開催する。

4. 諸経費

連絡会の活動に係る事務諸経費は、ネットワーク会費にて賄う。

5. 活動計画

【年間スケジュール】

日程	内容	備考
平成30年4月12日(木)16時	総会準備・役割分け	
平成30年5月10日(木)16時	総会	
平成30年6月14日(木)16時	年間計画打ち合わせ	
平成30年7月12日(木)16時	他職種交流会	
平成30年9月13日(木)16時	事例発表準備	
平成30年10月11日(木)16時	研修開催	
平成30年11月8日(木)16時	事例発表打ち合わせ	
平成31年1月10日(木)16時	事例発表準備	
平成31年2月14日(木)14時	事例発表	
平成31年3月14日(木)16時	事例発表振り返り/ 次年度について	

【担当会員による外部連絡会等への出向】

- ・町田・安心して暮らせる町づくりプロジェクト2名 協議会は1名
年4回基本木曜日 協議会 医師会館 19時から20時30分まで
年2回基本土曜日 多職種連携研修会 午後から夕方 その後 懇親会あり、
年4回 在宅医療検討部会 夕方(連絡会会長)
2018年度、ティエル訪問看護リハビリステーション町田、
訪問看護ステーションカミヤ
- ・認知症施策推進協議会 1名
任期2年、継続(2年目)
2018年度・ジャスミン
- ・町田市地域密着型サービス運営委員会 1名
任期3年(2018年1年度)、年2回・不定期開催:18時30分から20時00分まで
2018年度 町田病院
- ・町田市介護保険審議会 1名
年2回、連絡会会長として参加

きらら訪問看護ステーション

- ・町田市介護サービスネットワーク運営委員会 1名
年2回の会議（5月・2月の午後）
年1回アクティブ福祉の実行委員会
年1回アクティブ福祉 in 町田実行委員・救護班として参加
2018年度・まちだ正吉苑
- ・町田市介護保険事業者合同連携会議
3年に1回 連絡会会長1名で参加。